

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

横 倉 義 武

平成 28 年 (2016 年) 熊本地震における JMAT 派遣体制の再構築について

平成 28 年 (2016 年) 熊本地震被災地への日本医師会災害医療チーム (JMAT) の派遣につきましては、全国の医師会から非常に多くのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、熊本市など県内では、被災地の医療機関の再開や避難所の縮小・避難者の減少が進む一方、DMAT (災害派遣医療チーム) の撤収もあり、医療支援のニーズが変化しつつあります。また、これからは、被災者の健康管理、感染症、高齢者等の慢性疾患やメンタルヘルス等への対応が、特に重要となってきます。

こうした状況の下、今般、本会では、熊本県医師会及び九州医師会連合会災害対策本部 (長崎県医師会) とともに、熊本県内の医療支援の状況について協議を行いました。その結果、大型連休やその後も見据え、同一の被災地に継続派遣できる場合 (交代しながら) を基本として、原則、現時点で派遣要請をしているチームやその後継チームに医療支援をしていただくことといたしました (緊急臨時的な場合は除く)。

また、実際の派遣要請は、熊本県医師会が参画している熊本県医療救護調整本部との調整の上で、同県医師会による割当に基づいて行います。なお、本日までの登録分を含め、お申し込みをいただいた JMAT についても、最終的に派遣要請をしない可能性がありますことにご留意ください。

つきましては、各都道府県医師会におかれましても、上記につきご了承いただくとともに、各地域医師会等からの JMAT 参加のお申し出には、上記の状況をご説明いただくようお願いいたします。

JMAT の活動は、災害急性期の医療支援ではなく、急性期以降、復興までの長期にわたる支援でありますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。